

5. 博覧会協会主体で推進する企画事業の構成

事業推進の基本的な考え方

クリエイティブ・プラットフォーム・イニシアティブ (CPI)

- テーマをより強く訴求するために、博覧会協会が主体的にプロジェクトを企画し推進する事業
- 博覧会協会と国や自治体、民間企業等が事業資金や専門技術、研究成果などを出し合い、将来の社会の活性化に結びつく事業とする。
- それぞれの事業ごとにプロジェクト・プロデューサーを置き、建築や展示演出、イベントなどの専門家や幅広い市民の参加を得て、個性的で魅力ある内容を実現させる。

グローバル・ハウス (協会企画パビリオン)

愛知万博のテーマを最も先鋭に表現すると同時に、話題性や先進性のある展示演出を行い、来場者の人気パビリオンとなるようにする。

協会企画パビリオンに相応しく、総入場者数の 20% 程度を収容できる大規模な空間とするために、既存のアイスアリーナと温水プールの建物を活用し、既存施設の有効活用をはかりながらも演出性の高い展開を行う。

協会企画事業

愛知万博のテーマを反映するものとして、協会が企画し、国や自治体、民間企業、さらに市民の幅広い参加を得て推進するコラボレーション事業。以下の 4 つのゾーン型事業 (パビリオンや領域型展示及び交流広場などを複合化させた事業) を推進する。

A. 「地球市民村」事業 (青少年公園地区)

地球規模で活躍する国際的な NPO / NGO の参加を柱に、その活動に共鳴する企業や市民の幅広い参加を得て、これからの国際社会の新たな主役となる「地球市民」としての活動や交流、情報発信を幅広く展開する。

B. 「食と農」事業 (青少年公園地区)

人類と地球環境の根源的な関係の 1 つとして「食と農」がある。「食と農」の未来を考えることは、人間の未来、地球の未来を考えることに繋がる。「食と農」の大切さや楽しさ、おいしさなどを体験学習 (ラーニング・エクスペリエンス) できる活動と交流を、「食と農」に関連の深い行政機関や団体、民間企業等の協力を得て推進する。

C. 「遊びと文化 創造力遊園地」事業 (青少年公園地区)

遊び心の涵養から豊かな創造力が産み出される。こうした観点から、子供も大人も参加体験でき創造性を育むことのできる体験学習 (ラーニング・エクスペリエンス) 型の新しい遊園地を展開する。

D. 「市民交流舞台」事業 (海上地区)

愛知万博の成功を支える市民中心の主体的かつ自主的参加と交流の場として、愛知万博開催のメモリアルな意味を有する海上地区で展開する。

市民による主体的な協働と協創を基本として、愛知万博のテーマに沿った市民参加事業として推進する。

協会企画催事

愛知万博のテーマを芸術性と演出性の双方から追求し、愛知万博最大の話題となる修景演出型の催事を展開する。昼と夜の2本立てのプログラムとし、それぞれ異なる魅力を創出することで、高い来場促進効果を追求する。

協会企画コンベンション

愛知万博のテーマに相応しい国際的なコンベンションを積極的に誘致すると同時に、博覧会をメインの交流会場として活用する。また、広域圏の自治体と協力して、各種のコンベンションとの連携をはかる。さらに、万博に参加する国際機関が開催する国際会議等とも、積極的な連携をはかる。

6. 愛知万博の重点取り組み

愛知万博のテーマを反映する、〈環境〉〈IT〉〈市民〉〈文化〉の4つを重点取り組みプロジェクトとして位置付け、会場づくりや協会企画事業、参加事業、運営等において積極的に取り組む。

環境プロジェクト

共創型のコミュニティづくりに向けた環境プロジェクトを推進する。

- 主催者と参加者、来場者の参画促進
- 事業計画と会場づくりに、一步先を行く環境目標
- 体験学習型プログラムの導入
- EXPO会場とネットワークサイトの連携

ITプロジェクト

ネットワーク型のコミュニティづくりに向けた最先端のITプロジェクトを推進する。

- 観客と観客、観客と主催者、観客と出展者との新しい対話促進
- パーソナルな情報提供サービスの充実と博覧会情報の広域ネットワーク化
- 情報系、コミュニケーション系におけるユニバーサル・デザインの導入
- 最先端のIT技術（2004年の「IT S世界会議」の成果）の活用
- 最先端のメディア文化とパワーの活用（インターネット/ブロードバンド/大型映像）

市民プロジェクト

主体的で多様な参加を实践する市民プロジェクトを推進する。

- 市民参加システムについては以下の3点を重点に取り組む。
 - 公式参加の国、国際機関の支援や日本政府と自治体の出展事業への参加協力
 - 博覧会協会が推進する協会企画事業への主体的取り組み
 - 愛知万博の成功に向けたボランティア活動への参加及びその諸活動への各種の支援
- 万博への参加活動を通じて、新しい市民文化や地球市民精神を育む。

文化プロジェクト

多彩な文化創発と交流を実現する文化プロジェクトを推進する。

- 国家・国境にとらわれない世界の多様な文化の発信と来場者との交流
- 日本・アジアの環境共生型の知恵と文化を世界に強力に発信
- 世界の文化との交流を通じた日本のアイデンティティの再発見と再認識

7. 愛知万博の参加形態

市民、NPO/NGOの多彩な参加

市民が自ら企画・運営する実行組織の設置

個人、グループ、学校、文化団体、市民団体など、さまざまな市民が活発に参加する愛知万博を目指して、市民の自主的な企画、運営による実行組織を設け、市民参加プロデューサーの支援のもと、海上地区の「市民交流舞台」の積極的な市民参加活動を推進する。

積極的なボランティア参加への取り組み

愛知万博の運営に参加していただく市民ボランティアを積極的に推進していくための組織として「愛知万博ボランティア協会（仮称）」を設け、個人、団体、企業、学校等にボランティアへの参加を呼びかけていく。

国際的なNPO/NGOの参加による「地球市民村」の展開

世界的なネットワークを持つ国際的なNPO/NGOの活動を通して、21世紀の地球をとともに考え、行動し、交流するプロジェクトとして「地球市民村」を展開する。地球市民村は、国際的なNPO/NGOと、その活動に共鳴する企業や市民の参加を得て、幅広く推進する。

企業の多様な参加

企業の幅広いニーズに対応して、多様な選択肢の参加形態を設ける。

パビリオン出展参加

単独館出展参加	独立した建物を企業または企業グループ等で占有する参加形態
共同館出展参加	特定のテーマのもとで複数の企業または企業グループが共同で建物を使用する参加形態
集合館出展参加	建物の内部を区切ったスペースを使用する参加形態

協会企画事業参加

協会企画パビリオン、協会企画催事、協会企画事業、協会企画コンベンションなど、協会が企画する事業に、資金や技術、展示物等を提供する参加

技術提供参加

新エネルギー、供給システム、IT、会場内輸送などの技術やシステム、設備、機器の提供

催事参加

企業が主催する催事の持ち込みと、協会が主催する催事への共催、協賛、後援等の参加

その他の参加

愛知万博の広報活動を支援する広告参加や、会場での営業施設に参加する営業参加、資金参加など

団体・組織の多様な参加

団体・組織が特定の施設を建設・提供する参加や、運営に協力する参加など

広域連携による参加

会期中の広域連携参加

万博開催期間、近県、県内市町村、研究機関、学校、企業、市民が行う事業、催事などを、万博の広域連携参加事業として位置付ける。

広域連携参加事業は、万博会場内外に広域連携マップ等で紹介する。

また、万博会場と広域連携参加事業を結んだ「産業観光ツアー」や「体験ツアー」などにより、万博のPRと一体的に紹介していく。

さらに、公式参加国や国際機関に対する、県内88市町村の支援やホームビジット等による「一市町村一国フレンドシップ」など、各市町村の国際交流の推進をはかる。

会期前のイベントへの参加

自治体、企業、市民等が、万博開催前に行う事業やイベントとも連携し、後援、協力等を行う。(世界大会、コンベンション、音楽会、展覧会など)